

事業区分
金銭給付

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名	福祉ボランティア育成・活動支援					所管	福祉部 福祉課
	行政計画	事業NO.	170	計画事業名	福祉ボランティア育成・活動支援	事業の開始・終了年度	
長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり					[事業開始] 平成20年度	
	[小 柱] (4) 高齢者の地域での包括的な支援の仕組みづくり					[終了予定] - 年度	
	[施策] ②介護予防・生活支援サービスの充実						
根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	社会福祉法人に対する助成の手続きに関する条例・同施行規則				
事業対象	社会福祉協議会						
事業目的	社会福祉協議会の健全な発展と区内社会福祉事業の育成強化を図る。						
事業内容	社会福祉協議会が実施する以下の福祉ボランティアの育成や活動支援等に係る事業費の一部を助成する。 ・在宅福祉サービス事業 ・ボランティア活動推進事業 ・権利擁護センター事業						
委託の有無	なし	委託内容					
補助金の有無	都						
種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
活動指標	助成事業数	事業	3	3	3	3	
成果指標	はつらつサービス協力会員数	人	270	222	250	256	
決算額 (単位：千円)				41,013	41,623	39,812	
事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			(1,278)	(1,275)	1,203	
	物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			(0)	(0)	0	
	その他のコスト (扶助費・補助費など)			(1,782)	(1,905)	39,813	
	総経費			(3,060)	(3,180)	41,016	
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			(0)	(0)	0	
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			(0)	(0)	16,329	
	一般財源 (区負担額)			(3,060)	(3,180)	24,687	
前回評価から改善した事項	『はじめてのボランティア活動入門講座』の毎月の開催や、はつらつサービス協力会員の地域交流会を開催するなど、ボランティアの募集や連携強化の場づくりに努めた。						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	4	ボランティア活動の情報提供や高齢・障害等により在宅福祉サービスを必要とする区民は増加し続けており、社会福祉協議会のボランティアコーディネートの必要性は高まっている。				
	効率性	3	各種事業は充実した内容で実施されており、効率性に特段の変化はない。				
	手段の適切性	3	ボランティアに関する情報提供やネットワークの構築、啓発の機会創出、活動のサポートに努め、必要な支援を行っている。				
目的達成度	4	各種事業を継続的に実施することで、ボランティアの育成、確保を推進し、はつらつサービス協力会員等の増加につながった。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 拡大改善維持 縮小 廃止・終了	
社会的要請や、熊本地震への対応等、ボランティア活動についての普及啓発や定着支援への取り組みは欠くことができないものである。 ボランティアの人数を増やす一環として、はつらつサービスにポイント制度を導入する。					拡大		